



## 2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年7月30日

上場会社名 南海辰村建設株式会社  
コード番号 1850 URL <https://www.nantatsu.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 浦地 紅陽

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 南部 学史

TEL 06(6644)7805

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	10,545	0.7	342	328.7	341	817.4	229	586.0
2024年3月期第1四半期	10,473	31.1	79		37		33	71.2

(注)包括利益 2025年3月期第1四半期 231百万円 (525.4%) 2024年3月期第1四半期 37百万円 (66.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2025年3月期第1四半期	7.97	
2024年3月期第1四半期	1.16	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	29,634	15,890	53.6
2024年3月期	30,335	15,773	52.0

(参考)自己資本 2025年3月期第1四半期 15,890百万円 2024年3月期 15,773百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2024年3月期				4.00	4.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)				4.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	22,700	3.6	450	138.0	420	205.0	280	214.6	9.71
通期	51,100	17.1	2,100	24.5	2,050	26.1	1,420	29.1	49.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - 以外の会計方針の変更 : 無
  - 会計上の見積りの変更 : 無
  - 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	28,835,730 株	2024年3月期	28,835,730 株
期末自己株式数	2025年3月期1Q	8,046 株	2024年3月期	8,046 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	28,827,684 株	2024年3月期1Q	28,827,690 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(会計方針の変更に関する注記) .....	7
(セグメント情報の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
3. 補足情報 .....	9
生産、受注及び販売の状況 .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するなかで各種政策の効果もあって、緩やかに回復してまいりました。しかしながら、ロシア・ウクライナ戦争の長期化や中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響など、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

この間、建設業界におきましては、公共投資は補正予算の効果もあって底堅く推移しているものの、慢性的な技能労働者不足や建設資材価格の高止まりなど、業界を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループでは「3カ年経営計画」の基本方針にもとづき、主要目標数値の達成に向けて取り組んでまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期に比べ0.7%増の105億45百万円、営業利益は前年同四半期に比べ328.7%増の3億42百万円、経常利益は前年同四半期に比べ817.4%増の3億41百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に比べ586.0%増の2億29百万円となりました。

セグメントごとの経営成績を示すと、次のとおりであります。

なお、セグメント利益は四半期連結損益計算書における営業利益と対応しております。

#### (建設事業)

売上高は前期繰越工事高の増加や手持工事の進捗が進んだこと等により、前年同四半期に比べ0.9%増の104億98百万円となり、セグメント利益は、手持工事の利益率が向上したこと等により、前年同四半期に比べ449.8%増の3億49百万円となりました。

#### (不動産事業)

売上高は前期に販売用不動産を売却したことによる賃貸収入の減少等により、前年同四半期に比べ27.0%減の48百万円となり、セグメント利益は、前年同四半期に比べ42.5%減の11百万円となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間の資産合計は、現金預金が増加したものの、受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産が減少したこと等により、前連結会計年度に比べ7億1百万円減の296億34百万円となりました。

負債合計は、契約負債が増加したものの、借入金や支払手形・工事未払金等が減少したこと等により、前連結会計年度に比べ8億17百万円減の137億44百万円となりました。

純資産合計は、配当金の支払により利益剰余金が1億15百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益2億29百万円を計上したこと等により、前連結会計年度に比べ1億16百万円増の158億90百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月26日に公表いたしました2025年3月期の連結業績予想につきましては、変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	6,269	7,990
受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産	18,028	15,714
電子記録債権	785	593
販売用不動産	1,006	1,001
未成工事支出金	352	373
材料貯蔵品	47	24
その他	536	701
貸倒引当金	△40	△50
流動資産合計	26,986	26,348
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	243	239
土地	365	365
その他（純額）	35	32
有形固定資産合計	644	637
無形固定資産	91	88
投資その他の資産		
破産更生債権等	70	70
退職給付に係る資産	1,300	1,304
繰延税金資産	314	236
その他	1,005	1,026
貸倒引当金	△78	△78
投資その他の資産合計	2,613	2,559
固定資産合計	3,349	3,286
資産合計	30,335	29,634

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	8,314	7,985
電子記録債務	1,886	1,923
短期借入金	1,848	990
未払法人税等	173	50
契約負債	145	574
完成工事補償引当金	119	119
工事損失引当金	3	0
賞与引当金	224	117
その他	395	536
流動負債合計	13,112	12,298
固定負債		
長期借入金	80	68
退職給付に係る負債	1,258	1,269
その他	109	108
固定負債合計	1,449	1,445
負債合計	14,562	13,744
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	1,703	1,703
利益剰余金	11,553	11,668
自己株式	△3	△3
株主資本合計	15,253	15,367
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87	101
退職給付に係る調整累計額	433	420
その他の包括利益累計額合計	520	522
純資産合計	15,773	15,890
負債純資産合計	30,335	29,634

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	10,473	10,545
売上原価	9,851	9,634
売上総利益	621	911
販売費及び一般管理費	542	569
営業利益	79	342
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	3
その他	2	3
営業外収益合計	6	7
営業外費用		
支払利息	4	2
棚卸資産除却損	-	3
訴訟関連費用	42	0
その他	1	0
営業外費用合計	48	7
経常利益	37	341
税金等調整前四半期純利益	37	341
法人税、住民税及び事業税	18	34
法人税等調整額	△14	77
法人税等合計	3	112
四半期純利益	33	229
親会社株主に帰属する四半期純利益	33	229

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
四半期純利益	33	229
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	14
退職給付に係る調整額	△6	△12
その他の包括利益合計	3	1
四半期包括利益	37	231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	37	231
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	建設事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,407	65	10,473	—	10,473
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	1	2	△2	—
計	10,408	67	10,475	△2	10,473
セグメント利益	63	20	84	△4	79

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用(一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	建設事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,497	48	10,545	—	10,545
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	0	2	△2	—
計	10,498	48	10,547	△2	10,545
セグメント利益	349	11	361	△19	342

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用(一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	24百万円	18百万円

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 部門別売上高明細表

区分		前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)		比較増減(△)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	増減率 (%)
建設事業	建築	8,632	82.4	8,615	81.7	△16	△0.2
	土木	1,527	14.6	1,700	16.1	172	11.3
	電気	247	2.4	180	1.7	△66	△26.8
計		10,407	99.4	10,497	99.5	90	0.9
不動産事業		65	0.6	48	0.5	△17	△27.2
合計		10,473	100	10,545	100	72	0.7

(2) 受注状況

区分		前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)		比較増減(△)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	増減率 (%)
受注工事高	建築	6,107	69.5	4,177	46.7	△1,929	△31.6
	土木	2,221	25.3	4,329	48.3	2,108	94.9
	電気	461	5.2	450	5.0	△10	△2.3
合計		8,790	100	8,958	100	168	1.9
繰越工事高	建築	39,564	87.9	43,490	75.8	3,925	9.9
	土木	4,657	10.3	13,250	23.1	8,592	184.5
	電気	789	1.8	642	1.1	△147	△18.6
合計		45,011	100	57,382	100	12,371	27.5

(注) 1 当社グループでは建設事業以外は受注生産を行っておりません。

2 当社グループでは生産実績を定義することが困難であるため「生産の状況」は記載しておりません。

以上